



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 武田薬品工業株式会社
コード番号 4502 URL <http://www.takeda.co.jp>

上場取引所 東 大 名 札 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 閑史

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・オフィサー コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 大槻 浩

TEL 03-3278-2037

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	398,292	11.5	62,566	△46.2	66,233	△44.5	87,563	15.8
24年3月期第1四半期	357,219	0.7	116,210	8.3	119,236	14.8	75,584	17.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △40,247百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 51,322百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	110.92	110.90
24年3月期第1四半期	95.75	95.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	3,467,951	1,950,199	54.5	2,395.44
24年3月期	3,577,030	2,071,866	56.2	2,548.53

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,890,993百万円 24年3月期 2,011,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	780,000	11.0	100,000	△52.6	95,000	△54.7	105,000	△22.6	133.01
通期	1,550,000	2.7	160,000	△39.6	150,000	△44.5	155,000	24.8	196.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料10ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	789,666,095 株	24年3月期	789,666,095 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	253,017 株	24年3月期	252,486 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	789,413,287 株	24年3月期1Q	789,378,045 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、レビュー手続は一部終了していません。なお、レビュー手続を終了後、8月8日に四半期報告書を提出する予定です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社の業績は、事業環境の変化や為替変動による影響など、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものですが、事業環境等の変化により、当社業績に重大な影響が生じると判断した場合には、速やかにご報告いたします。詳細につきましては添付資料P.9「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

・本日7/30(月)開催の決算説明カンファレンスコールにおける資料、説明内容および主な質疑応答については、速やかに当社のホームページに掲載致します。（当社ホームページ）

http://www.takeda.co.jp/investor-information/quarterly-results/index_869.html

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	8
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	10
3. 四半期連結財務諸表.....	11
(1) 四半期連結貸借対照表.....	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	13
四半期連結損益計算書.....	13
四半期連結包括利益計算書.....	14
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	15
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	15
(5) セグメント情報等.....	15
(6) 販売実績（外部顧客に対する売上高）.....	16
(7) 重要な後発事象.....	16
4. 補足情報.....	17
(1) 連結医療用医薬品売上高.....	17
(2) 連結医療用医薬品 主要品目売上高（地域別）.....	17
(3) 医療用医薬品 主要品目国内単体売上高.....	18
(4) 一般用医薬品 主要品目売上高.....	18
(5) 開発の状況.....	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①はじめに

未だに予断を許さない欧州財政危機に端を発した景気停滞の影響により、米国ほかの先進国のみならず、このところ世界経済の成長の牽引役と期待されている新興国の経済成長にも減速傾向が見られております。日本においても、東日本大震災の復興需要による当面の経済成長は見られるものの、国内企業の国際競争力低下と長引く円高やエネルギーコストの上昇等があいまって景気の回復の足どりは確実なものではなく、世界的に経済動向は不透明感を増しております。

世界の医薬品市場の動向をみると、米国では、医療改革法に対する連邦最高裁の合憲判断により中長期的には保険加入者の拡大が期待できるものの、大型製品の相次ぐ特許切れや景気停滞の影響から市場の伸びは鈍く、日本では、今春の薬価改定、後発品の使用促進をはじめとする医療費抑制策の強化が進んでいることに加え、世界的に承認審査の厳格化が進んでおり、当社を取り巻く事業環境もまた厳しさを増しております。しかしながら、先進国市場ではアンメット・ニーズを満たす革新的な新薬に、相対的に高成長が見込まれる新興国市場では国民の健康に対する意識が高まる中で医薬品及び医療に対する要求も高まる傾向にあります。

当社は、2010 年度より、「新たなタケダへの変革」を目指し「革新への挑戦(Innovation)」と「活力ある企業文化の創造(Culture)」を通じて「持続的な成長(Growth)」を実現するという経営方針に沿った着実な取り組みを推進しています。2011 年度には、欧州および新興国に強固な事業基盤を有する「ナイコメッド社」の買収および事業統合と、後期ステージにある研究開発パイプラインの進捗を実現させることができました。これらの成果を踏まえ、当社では今春、2012 年度を起点とした中長期にわたり持続的な成長をより確実なものとするための「12-14 中期計画」を新たに策定し、スタートさせました。

本中期計画では、旧ナイコメッド社の買収により拡大した進出国で当社製品を上市することにより、売上シナジーを実現していくとともに、先進国市場・新興国市場それぞれのニーズにあった製品を供給することにより、当社のプレゼンスの向上に取り組みます。また、後期開発品目の承認を確実に取得するとともに、重点疾患領域への資源の集中的な投下による新規化合物の創出、ライフ・サイクル・マネジメントによる既存製品の価値最大化等を通じて、引き続き研究開発生産性の向上に注力するなど、将来の持続的な成長に必要な投資を継続していきます。

<先進国市場での取り組み>

米国での事業基盤の強化と痛風領域フランチャイズの強化のために「URL Pharma, Inc. (URL ファーマ社)」の買収に合意し、本年6月に買収手続を完了しました。また、新製品としては、本年4月に米国において腎性貧血治療剤「オモンティス」の販売を開始しました。本剤は、透析期患者(成人)を対象とした赤血球造血刺激因子製剤として、米国において初めて承認された1ヶ月製剤です。日本においては、本年5月に、高血圧症治療剤「アジルバ」の販売を開始いたしました。本剤は、当社の主力品であり、日本で最も処方されているアンジオテンシン II 受容体拮抗薬「プロプレス」と比較した臨床試験において、有意に血圧を低下させる効果が確認されております。

<新興国市場での取り組み>

本年3月、メキシコにおいて高血圧症治療剤「イダービ」の販売を開始いたしました。また、ブラジルにおける多様な医療ニーズに応えるため、ブランドジェネリックや OTC 製品等、同国で需要の高いカテゴリーの製品を持つ「Multilab Indústria e Comércio de Produtos Farmacêuticos Ltda.

（マルチラブ社）」の買収に合意し、本年７月に買収手続きを完了しました。

<研究開発活動>

本年４月に欧州において２型糖尿病治療薬「SYR-322（一般名：アログリプチン）」の販売許可を申請し、本年６月には、欧州における鉄欠乏性貧血治療剤「リエンゾ」の販売許可を取得しました。また、臨床第３相試験実施中の潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬「MLN0002」について良好な臨床成績を得るとともに、多発性骨髄腫治療薬「MLN9708」を臨床第３相試験に進めることができました。

なお、米国において販売許可申請中の２型糖尿病治療薬「ネシーナ（一般名：アログリプチン）」、および「ネシーナ」と同治療剤「アクトス」の合剤について、本年４月に米国食品医薬品局（FDA）より審査結果通知を受領しましたが、その後のFDAとの協議に基づき、７月に両薬の追加データを提出いたしました。当社では、引き続き、早期の承認取得と上市を目指して取り組んでまいります。

<コーポレートガバナンスの強化>

本年４月には、経営戦略機能、経営管理機能のさらなる充実を目的として、従来の事業戦略部と経理部を再編し、社長直轄組織である「経営企画部」および「経営管理部」を設立いたしました。今後とも、更なる成長戦略の策定・実行、グローバルで整合性の取れた事業運営の実現に取り組んでまいります。

当社は、230年を超える長い歴史の中で培われた経営哲学である「タケダイズム＝誠実（公正・正直・不屈）」を根幹に、これからもグローバルに事業を展開する企業の責務として地球環境への配慮とコンプライアンスの遵守を徹底し、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」という経営理念の実現を目指してまいります。

（注）ご参考として、次ページに2010年以降新たに発売した主要製品を記載しています。

<ご参考> 2010 年以降新たに発売した主要製品

[日本]

<2010 年新発売>

2型糖尿病治療剤「ネシーナ錠(一般名:アログリプチン安息香酸塩)」
高血圧症治療剤「ユニシア配合錠(「プロプレス」とカルシウム拮抗剤(アムロジピンベシル酸塩)の合剤)」
抗癌剤「ベクティビックス点滴静注(一般名:パニツムマブ)」
不眠症治療剤「ロゼレム錠(一般名:ラメルテオン)」
2型糖尿病治療剤「メタクト配合錠(「アクトス」とビッグアナイド系薬剤(メホルミン塩酸塩)の合剤)」
2型糖尿病治療剤「アクトス OD 錠(口腔内崩壊錠)」
ヘリコバクター・ピロリ二次除菌用組み合わせ製剤「ランピオンパック(「タケプロン」、アモキシシリン水和物およびメ
トロニダゾールの組み合わせ製剤)」

<2011 年新発売>

アルツハイマー型認知症治療剤「レミニール(一般名:ガランタミン臭化水素酸塩)」(「ヤンセンファーマ株式会社」からの導入品であり同社と共同販売を実施)
2型糖尿病治療剤「ソニアス配合錠(「アクトス」とスルホニルウレア系薬剤(グリメピリド)の合剤)」
2型糖尿病治療剤「リオベル配合錠(「ネシーナ」と「アクトス」の合剤)」

<2012 年5月新発売>

高血圧症治療剤「アジルバ錠(一般名:アジルサルタン)」

[北米]

(米国)

<2010 年新発売>

2型糖尿病治療剤「アクトプラスメット XR(「アクトス」とビッグアナイド系薬剤(メホルミン徐放製剤)の合剤)」

<2011 年新発売>

高血圧症治療剤「イダービ(一般名:アジルサルタン メドキシミル)」

<2012 年2月新発売>

高血圧症治療剤「イダーバクロール(「イダービ」とサイアザイド系利尿剤(クロルタリドン)の合剤)」

<2012 年4月新発売>

腎性貧血治療剤「オモンティス(一般名:ペギネサタイド)」

(カナダ)

<2010 年新発売>

逆流性食道炎治療剤「デクスラント(一般名:デクスランソプラゾール)」
痛風・高尿酸血症治療剤「ユーロリック(一般名:フェブキソスタット)」

<2011 年新発売>

慢性閉塞性肺疾患治療剤「ダクサス(一般名:rufumilast)」

[欧州]

<2010 年新発売>

非転移性骨肉腫治療剤「メパクト(一般名:ミファムルチド)」

<2012 年1月新発売>

高血圧症治療剤「イダービ(一般名:アジルサルタン メドキシミル)」

<2012 年 10 月以降順次発売予定>

鉄欠乏症貧血治療剤「リエンゾ(一般名:ferumoxytol)」

[新興国のうち主なもの]

(ブラジル)

<2011 年新発売>

慢性閉塞性肺疾患治療剤「ダクサス(一般名:rufumilast)」

(ロシア)

<2012 年 3 月新発売>

慢性閉塞性肺疾患治療剤「ダクサス(一般名:rufumilast)」

(メキシコ)

<2011 年新発売>

逆流性食道炎治療剤「デクスラント(一般名:デクスランソプラゾール)」
非転移性骨肉腫治療剤「メパクト(一般名:ミファムルチド)」

<2012 年 3 月新発売>

高血圧症治療剤「イダービ(一般名:アジルサルタン メドキシミル)」

②当期(2012年4-6月期)における業績の概要

当期の連結業績は、以下のとおりとなりました。

売 上 高	3,983 億円 [対前年同期	411 億円 (11.5%) 増]
営 業 利 益	626 億円 [〃	536 億円 (46.2%) 減]
経 常 利 益	662 億円 [〃	530 億円 (44.5%) 減]
四半期純利益	876 億円 [〃	120 億円 (15.8%) 増]

〔売上高〕

前年同期から 411 億円 (11.5%) 増収の 3,983 億円となりました。

- ・国内における2型糖尿病治療剤「ネシーナ」をはじめ、当社 100%子会社である米国「ミレニウム・ファーマシューティカルズ株式会社 Inc.」の多発性骨髄腫治療剤「ベルケイド」、同「武田ファーマシューティカルズUSA, Inc.」における逆流性食道炎治療剤「デクスラント」および痛風・高尿酸血症治療剤「ユーロリック」の伸長、さらに昨年9月に買収したナイコメッド社の売上が加わったこと等により、為替レートが円高となった影響(48 億円のマイナス)および日米欧における2型糖尿病治療剤「アクトス」および高血圧症治療剤「カンデサルタン」の減収をカバーし、全体では増収となりました。

- ・医療用医薬品の主要品目の売上高は下記のとおりです。

2型糖尿病治療剤 「ピオグリタゾン(国内製品名:アクトス)」	558 億円	対前年同期	373 億円 (40.1%) 減
高血圧症治療剤 「カンデサルタン(国内製品名:プロプレス)」	475 億円	〃	111 億円 (19.0%) 減
前立腺癌・乳癌・子宮内膜症治療剤 「リュープロレリン(国内製品名:リュープリン)」	297 億円	〃	4 億円 (1.5%) 減
消化性潰瘍治療剤 「ランソプラゾール(国内製品名:タケプロン)」	272 億円	〃	49 億円 (15.2%) 減
消化性潰瘍治療剤 「パントプラゾール」	202 億円	〃	202 億円 (- %) 増
多発性骨髄腫治療剤 「ベルケイド」(米国売上高)	176 億円	〃	35 億円 (24.7%) 増

〔営業利益〕

前年同期から 536 億円 (46.2%) 減益の 626 億円となりました。

- ・増収により売上総利益が 167 億円 (6.0%) 増益となったものの、販売費及び一般管理費が 703 億円 (43.4%) 増加したことにより、営業利益は減益となりました。
- ・研究開発費は、212 億円 (36.7%) 増加し、789 億円となりました。
- ・研究開発費以外の販売費及び一般管理費は、ナイコメッド社での発生費用や、のれん・無形固定資産償却費の増加による影響などで 491 億円 (47.1%) 増加し、1,535 億円となりました。

〔経常利益〕

前年同期から 530 億円 (44.5%) 減益の 662 億円となりました。

- ・営業利益が減益となったことにより、営業外損益は6億円改善したものの、経常利益についても減益となりました。

〔四半期純利益〕

経常利益が減益となったものの、過去納付した移転価格税制に基づく追徴税の還付金(還付税金および還付加算金)の計上により、前年同期から120億円(15.8%)増益の876億円となりました。

- ・1株当たり四半期純利益は、前年同期から15円17銭(15.8%)増加し、110円92銭となりました。
- ・特別損益および企業買収などによる特殊要因除きの1株当たり四半期純利益(注)は、前年同期から32円72銭(29.7%)減少し、77円34銭となりました。

(注) 四半期純利益から、特別損益および企業買収によるのれん償却費、無形固定資産償却費等の特殊要因を控除して算定しております。

③当期(2012年4-6月期)におけるセグメント別業績の状況

当期における各セグメントの売上高および営業利益は、以下のとおりとなりました。

セグメント	売 上 高		営 業 利 益	
	金 額	対前年同期	金 額	対前年同期
医療用医薬品事業	3,606 億円	407 億円増	550 億円	539 億円減
〈国内〉	〈1,455 億円〉	〈27 億円減〉		
〈海外〉	〈2,150 億円〉	〈434 億円増〉		
ヘルスケア事業	159 億円	9 億円増	45 億円	5 億円増
その他事業	230 億円	6 億円減	36 億円	2 億円減
全社合計	3,983 億円	411 億円増	626 億円	536 億円減

(注) 各セグメントの売上高は、各報告セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

〔医療用医薬品事業〕

医療用医薬品事業の売上高は前年同期から407億円(12.7%)増収の3,606億円となり、営業利益は前年同期から539億円(49.5%)減益の550億円となりました。

このうち国内売上高は、「ネシーナ」等、一昨年発売した製品群の寄与があったものの、「アクトス」および「プロプレス」の減少を吸収できず、27億円(1.8%)減収の1,455億円となりました。

主な品目の国内売上高は下記のとおりです。

「プロプレス」(高血圧症治療剤)	338 億円	対前年同期	22 億円(6.1%)減
「タケプロン」(消化性潰瘍治療剤)	173 億円	〃	14 億円(7.3%)減
「リュープリン」(前立腺癌・乳癌・子宮内膜症治療剤)	161 億円	〃	6 億円(3.5%)減
「ネシーナ」(2型糖尿病治療剤)	71 億円	〃	52 億円(275.6%)増
「アクトス」(2型糖尿病治療剤)	54 億円	〃	62 億円(53.6%)減
「ベクティビックス」(抗悪性腫瘍剤)	48 億円	〃	8 億円(21.2%)増

海外売上高は、ナイコメッド社の売上が加わったことで、米欧における「アクトス」および「カンデサ

ルタン」の減収や円高による減収影響を吸収し、前年同期から434億円(25.3%)増収の2,150億円となりました。

〔ヘルスケア事業〕

ヘルスケア事業の売上高は、「アリナミン錠剤類」、「アリナミンドリンク類」、「ベンザ類」等の増収により、前年同期から9億円(6.1%)増収の159億円となりました。営業利益は増収に伴う売上総利益の増益等により、5億円(12.0%)増益の45億円となりました。

〔その他事業〕

その他事業の売上高は前年同期から6億円(2.4%)減収の230億円、営業利益は2億円(4.8%)減益の36億円となりました。

④研究開発活動の内容および成果

当社は、常に医療上のニーズをふまえ、研究開発戦略を決定しています。「12-14 中期計画」においては、「代謝性・循環器系疾患」、「癌」、「中枢神経系疾患」、「呼吸器・免疫系疾患」、「消化器・泌尿生殖器系疾患」、「ワクチン」を重点領域と位置付け、経営資源を投下し、画期的新薬の創出に挑戦してまいります。なお、当期における研究開発活動の主な内容および成果は下記のとおりです。

〔自社創製品に関する取り組み〕

- ・本年4月、2型糖尿病治療薬「SYR-322 (一般名:アログリプチン)」、および「SYR-322」と2型糖尿病治療剤「アクトス(一般名:ピオグリタゾン)」の合剤について、米国食品医薬品局(FDA)より、審査結果通知を受領しました。同年7月、「SYR-322」、および「SYR-322」と「アクトス」の合剤に関する追加データを提出しました。
- ・本年5月、2型糖尿病治療薬「SYR-322 (一般名:アログリプチン)」について、欧州医薬品庁(EMA)に、販売許可申請を提出し、受理されました。
- ・本年5月、潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬「MLN0002(一般名:vedolizumab)」について、抗 TNF α 抗体を含む既存薬不応の中等症から重症の活動期クローン病を対象とした臨床第3相試験(GEMINI II 試験)において、主要評価項目である導入期および維持期の寛解を達成しました。
- ・本年6月、多発性骨髄腫治療薬「MLN9708 (一般名:ixazomib citrate)」について、米国臨床腫瘍学会年次集会(ASCO)において、再発・難治性の多発性骨髄腫を対象とした安全性・忍容性の評価、および用量設定を目的とした2つの臨床第1相試験と臨床第1/2 相試験の結果を発表しました。同年6月、再発・難治性の多発性骨髄腫患者を対象とした臨床第3相試験(TOURMALINE-MM1 試験)を開始しました。
- ・本年6月、前立腺癌治療薬「TAK-700(一般名:orteronel)」について、ASCO において、前立腺特異抗原(PSA)が上昇した非転移性の去勢抵抗性前立腺癌患者を対象に、プレドニゾンを併用せずに「TAK-700」を経口投与した際の有効性と安全性を検討した臨床第2相試験の最新解析結果

を発表しました。

[合剤等に関する取り組み]

- ・本年6月、2型糖尿病治療薬「SYR-322(一般名:アログリプチン)」と同治療剤「アクトス」の合剤ならびに「SYR-322」と2型糖尿病治療剤「メトホルミン」の合剤について、EMA に販売許可申請を提出し、受理されました。

[導入品(アライアンス)に関する取り組み]

- ・本年4月、米国「エーマグ社」からの導入品である静注用鉄欠乏性貧血治療剤「リエンゾ(一般名:フェルモキシトール)」について、EMA の欧州医薬品評価委員会(CHMP)において販売承認を推奨する見解が示されました。同年6月、欧州委員会(EC)より販売許可を取得しました。
- ・本年6月、米国「NPS ファーマシューティカルズ社」からの導入品である短腸症候群治療薬「リベスティブ(一般名:teduglutide)」について、EMA の CHMP において販売承認を推奨する見解が示されました。
- ・本年6月、米国「アムジェン社」より導入した抗癌薬「AMG706(一般名:motesanib)」について、当社とアムジェン社は、2008 年2月に締結した契約を終了し、新たなライセンス契約を締結しました。これにより、当社は、「AMG706」について、全世界を対象とした独占的開発・販売権を有することになりました。また、同年7月、当社は、「AMG706」について、進行性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象に化学療法との併用によるアジア共同臨床第3相試験を開始しました。本試験は、日本、香港、韓国、台湾で実施します。
- ・本年7月、米国「シアトルジェネティック社」からの導入品である悪性リンパ腫治療薬「ADCETRIS(一般名:ブレンツキシマブ・ベドチン)」について、EMA の CHMP において、条件付き販売承認を推奨する見解が示されました。今回、条件付き販売承認を推奨された効能・効果は、(1)自己幹細胞移植後、または、自己幹細胞移植や多剤併用化学療法が適さず少なくとも2種類以上の治療を実施した、成人の再発・難治性の CD30 陽性ホジキンリンパ腫、および(2)成人の再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫です。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

[資産]

当四半期末における総資産は3兆4,680億円となり、前連結会計年度末に比べ1,091億円減少しました。有価証券を中心に流動資産が818億円減少し、のれんを含む無形固定資産を中心に固定資産が273億円減少しております。

[負債]

当四半期末における負債は1兆5,178億円となり、前連結会計年度末に比べ126億円増加しました。

〔純資産〕

当四半期末における純資産は１兆 9,502 億円となりました。円高に伴う為替換算調整勘定の減少などにより前連結会計年度末から 1,217 億円減少しました。

自己資本比率は 54.5%となり、前連結会計年度末から 1.7 ポイント減少しております。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当四半期累計期間の実績、前提となる為替レートの見直し、および本年７月に買収完了した「マルチラブ社」の業績見通しを織り込むなど、見直しを実施しておりますが、下記の前回発表予想(平成 24 年５月 11 日の決算発表時)から修正はございません。

〔平成 25 年３月期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 連結累計期間	7,800 億円	1,000 億円	950 億円	1,050 億円
通 期	15,500 億円	1,600 億円	1,500 億円	1,550 億円

〔見通しの前提条件〕

通期の平均為替レート的前提は、１米ドル＝80 円、１ユーロ＝100 円としております。

〔見通しに関する注意事項〕

当社の業績は、事業環境の変化や為替変動による影響など、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績見通しに織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、速やかにご報告いたします。

また、本業績見通しに織り込んだ「URLファーマ社」と「マルチラブ社」にかかる企業結合会計等による影響については、買収手続き完了後１年以内に会計監査人による監査を経て確定しますので、現時点での見通しであり確定額ではありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

① 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	214,885	205,395
受取手形及び売掛金	344,679	337,127
有価証券	240,740	175,937
商品及び製品	93,514	101,935
仕掛品	52,594	53,892
原材料及び貯蔵品	48,906	47,692
繰延税金資産	221,230	210,308
その他	65,303	67,579
貸倒引当金	△2,855	△2,671
流動資産合計	1,278,996	1,197,194
固定資産		
有形固定資産	488,702	487,011
無形固定資産		
のれん	582,257	563,797
特許権	322,537	382,511
販売権	570,166	505,696
その他	41,288	40,498
無形固定資産合計	1,516,247	1,492,502
投資その他の資産		
投資有価証券	186,697	179,987
その他	106,507	111,343
貸倒引当金	△119	△85
投資その他の資産合計	293,085	291,244
固定資産合計	2,298,035	2,270,757
資産合計	3,577,030	3,467,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,950	99,463
短期借入金	241,411	241,456
未払法人税等	24,097	31,766
賞与引当金	35,288	41,034
その他の引当金	11,883	15,235
その他	337,103	297,484
流動負債合計	751,731	726,437
固定負債		
社債	190,000	190,000
長期借入金	111,393	111,349
繰延税金負債	301,758	301,555
退職給付引当金	54,430	49,978
その他の引当金	10,941	10,017
その他	84,911	128,417
固定負債合計	753,433	791,316
負債合計	1,505,165	1,517,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,541	63,541
資本剰余金	49,638	41,245
利益剰余金	2,254,075	2,270,583
自己株式	△808	△810
株主資本合計	2,366,446	2,374,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,046	83,493
繰延ヘッジ損益	2	224
為替換算調整勘定	△441,653	△567,284
その他の包括利益累計額合計	△354,605	△483,567
新株予約権	504	620
少数株主持分	59,522	58,586
純資産合計	2,071,866	1,950,199
負債純資産合計	3,577,030	3,467,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	357,219	398,292
売上原価	78,900	103,313
売上総利益	278,320	294,978
販売費及び一般管理費		
研究開発費	57,715	78,878
その他	104,394	153,534
販売費及び一般管理費合計	162,109	232,412
営業利益	116,210	62,566
営業外収益		
受取利息	477	343
受取配当金	1,717	1,782
持分法による投資利益	108	315
営業譲渡益	2,793	3,695
その他	2,696	2,062
営業外収益合計	7,792	8,198
営業外費用		
支払利息	265	781
寄付金	531	251
為替差損	1,944	1,638
その他	2,026	1,861
営業外費用合計	4,766	4,531
経常利益	119,236	66,233
特別利益		
法人税等還付加算金	—	11,593
特別利益合計	—	11,593
特別損失		
事業構造再編費用	—	2,096
特別損失合計	—	2,096
税金等調整前四半期純利益	119,236	75,730
法人税等	42,615	33,005
過年度法人税等	—	△45,622
法人税等合計	42,615	△12,618
少数株主損益調整前四半期純利益	76,621	88,347
少数株主利益	1,037	784
四半期純利益	75,584	87,563

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,621	88,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,277	△3,574
繰延ヘッジ損益	4,266	222
為替換算調整勘定	△31,799	△125,235
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△6
その他の包括利益合計	△25,299	△128,594
四半期包括利益	51,322	△40,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,386	△41,399
少数株主に係る四半期包括利益	935	1,152

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	医療用医薬品	ヘルスケア	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	319,906	14,935	23,575	358,416	△ 1,196	357,219
セグメント間の内部売上 高又は振替高	739	31	1,463	2,233	△ 2,233	—
計	320,644	14,966	25,038	360,649	△ 3,429	357,219
セグメント利益	108,893	4,021	3,829	116,743	△ 533	116,210

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	医療用医薬品	ヘルスケア	その他			
売上高						
外部顧客への売上高	360,559	15,850	23,015	399,425	△ 1,133	398,292
セグメント間の内部売上 高又は振替高	809	101	1,571	2,481	△ 2,481	—
計	361,368	15,952	24,586	401,906	△ 3,614	398,292
セグメント利益	54,977	4,505	3,646	63,128	△ 562	62,566

(注) セグメント利益は、各セグメントの営業利益を表示しております。

②地域ごとの情報

売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米州			欧州		アジア	その他	合計
		うち米国	うち中南米		うちロシア /CIS			
183,190	120,899	117,069	1,303	43,919	20	6,943	2,269	357,219

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米州			欧州		アジア	その他	合計
		うち米国	うち中南米		うちロシア /CIS			
180,894	119,373	101,024	13,824	77,072	15,106	14,869	6,084	398,292

(注) 1. 当第1四半期連結累計期間より、地域別売上に関するより詳細な情報を提供するため、地域区分を変更し、従来の「アジア他」を「アジア」と「その他」に分割しております。なお、前第1四半期連結累計期間については変更後の区分方法により作成しております。また、本変更に合わせて、米州以外の各地域に帰属する国を一部見直しております。

2. 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれております。

(6) 販売実績(外部顧客に対する売上高)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

医療用医薬品事業			ヘルスケア事業	その他事業	調整額	四半期連結損益 計算書計上額	(内、知的財産権収益)
(国内)	(海外)	小計					
148,244	171,662	319,906	14,935	23,575	△ 1,196	357,219	(8,952)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

医療用医薬品事業			ヘルスケア事業	その他事業	調整額	四半期連結損益 計算書計上額	(内、知的財産権収益)
(国内)	(海外)	小計					
145,525	215,034	360,559	15,850	23,015	△ 1,133	398,292	(8,507)

(7) 重要な後発事象

①米ドル建無担保普通社債の発行

当社は平成24年6月22日開催の取締役会決議に基づき、平成24年7月17日に下記のとおり米ドル建無担保社債を発行いたしました。

	米ドル建無担保普通社債 (2015年償還)	米ドル建無担保普通社債 (2017年償還)
1. 発行総額	15億米ドル	15億米ドル
2. 発行価額	各社債の金額100ドルにつき100ドル	
3. 利率	年 1.031%	年 1.625%
4. 償還期日	平成27年3月17日	平成29年3月17日
5. 償還方法	満期一括償還	
6. 資金の使途	Nycomed A/S買収に伴う短期借入金の返済資金の一部に充当	
7. 重要な特約	担保提供制限条項	

4. 補足情報

(1) 連結医療用医薬品売上高

(億円)

	平成24年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	対前年同期	
			金額	増減率
国内製商品売上高	1,486	1,461	△25	△1.7%
海外製商品売上高	1,619	2,056	437	27.0%
米州	1,165	1,157	△8	△0.7%
うち米国	1,140	975	△165	△14.5%
うち中南米	12	138	125	-
欧州	375	702	327	87.4%
うちロシア/CIS	0	151	151	-
アジア	58	138	81	139.9%
その他	22	59	37	169.0%
知的財産権収益・役務収益	101	97	△5	△4.8%
国内	4	3	△1	△33.0%
海外	98	94	△4	△3.7%
売上高 合計	3,206	3,614	407	12.7%

(注) 1. 売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 当第1四半期連結累計期間より、地域別売上に関するより詳細な情報を提供するため、地域区分を変更し、従来の「アジア他」を「アジア」と「その他」に分割しております。なお、前第1四半期連結累計期間については変更後の区分方法により作成しております。また、本変更に合わせて、米州以外の各地域に帰属する国を一部見直しております。

3. 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれております。

連結医療用医薬品 海外売上高比率	53.5%	59.5%
------------------	-------	-------

(円)

【為替レート】	平成24年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	増減
ドル 四半期平均レート(4-6月)	81.7	80.2	△1.6
ユーロ 四半期平均レート(4-6月)	117.3	102.8	△14.6

(2) 連結医療用医薬品 主要品目売上高(地域別)

(億円)

品目	平成24年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	対前年同期	
			金額	増減率
リュープロレリン				
連結売上高	301	297	△4	△1.5%
日本	167	161	△6	△3.5%
米州	40	42	2	5.1%
欧州	79	75	△5	△6.1%
アジア・その他	15	19	4	28.3%
ランソプラゾール				
連結売上高	321	272	△49	△15.2%
日本	187	173	△14	△7.3%
米州	80	63	△17	△21.6%
欧州	45	22	△23	△50.6%
アジア・その他	9	14	5	51.2%
カンデサルタン (注)				
連結売上高	586	475	△111	△19.0%
日本	360	338	△22	△6.1%
米州・欧州・アジア・その他	226	137	△89	△39.4%
ビオグリタゾン				
連結売上高	931	558	△373	△40.1%
日本	115	54	△62	△53.6%
米州	734	469	△265	△36.1%
欧州	68	23	△45	△66.1%
アジア・その他	13	12	△2	△12.0%
ベルケイド(米国)	141	176	35	24.7%
アミティーザ(米国)	50	50	△0	△0.6%
デクスラント(米州)	48	70	22	45.2%
ユーロリック(米州)	30	38	8	28.0%
パントプラゾール	-	202	202	-
ダクサス	-	7	7	-

(注) カンデサルタンは、ライセンサー先への輸出売上高を単一ルートで計上しているため、日本と米州・欧州・アジア・その他の2区分で表示しています。

(3) 医療用医薬品 主要品目国内単体売上高

(億円)

品目	発売年月	薬効区分	平成24年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	対前年同期	
					金額	増減率
プロプレス	(1999.6)	高血圧症治療剤	360	338	△22	△6.1%
うち、エカード	(2009.3)	高血圧症治療剤	33	32	△1	△2.3%
うち、ユニシア	(2010.6)	高血圧症治療剤	37	53	16	42.9%
タケプロン	(1992.12)	消化性潰瘍治療剤	187	173	△14	△7.3%
リュープリン	(1992.9)	前立腺癌・乳癌・ 子宮内膜症治療剤	167	161	△6	△3.5%
エンブレル	(2005.3)	抗リウマチ剤	103	108	4	4.4%
ネシーナ	(2010.6)	糖尿病治療剤	19	71	52	275.6%
うち、リオベル	(2011.9)	糖尿病治療剤	—	8	8	—
アクトス	(1999.12)	糖尿病治療剤	115	54	△62	△53.6%
ベイスン	(1994.9)	糖尿病治療剤	70	52	△18	△25.5%
ベクティビックス	(2010.6)	抗悪性腫瘍剤	40	48	8	21.2%
ベネット	(2002.5)	骨粗鬆症治療剤	44	35	△9	△21.5%
乾燥弱毒生麻しん風しん 混合ワクチン「タケダ」	(2006.1)	麻しん及び風しんの 予防ワクチン	31	26	△5	△17.3%
アジルバ	(2012.5)	高血圧症治療剤	—	19	19	—
セルタッチ	(1993.9)	経皮吸収型 鎮痛消炎剤	21	18	△3	△13.1%
レミニール	(2011.3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	3	18	14	454.0%
ロゼレム	(2010.7)	不眠症治療剤	4	10	7	170.6%

(4) 一般用医薬品 主要品目売上高

(億円)

品目	平成24年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	対前年同期	
			金額	増減率
アリナミンドリンク類	36	42	6	15.9%
アリナミン錠剤類	39	41	1	3.8%
ビオフェルミン類	18	21	3	16.4%
ベンザ類(除 ドリンク)	11	12	1	6.6%
ボラギノール類	10	10	0	2.5%

(5) 開発の状況

■ 日米欧

開発コード／製品名 ＜一般名＞	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
Feraheme[®] / Rienso[®] <ferumoxytol>	静注用鉄製剤 (注射剤)	成人における慢性腎疾患に伴う鉄欠乏性貧血	欧州 承認(12/6)	導入品 (AMAG 社)
SYR-322 <alogliptin>	DPP-4 阻害薬 (経口剤)	糖尿病	米国 FDA Complete Response Letter 受領(12/4) 欧州 申請(12/5)	自社品
		糖尿病(アクトスとの合剤)	米国 FDA Complete Response Letter 受領(12/4) 欧州 申請(12/6)	
		糖尿病(メトホルミンとの合剤)	米国 申請(11/11) 欧州 申請(12/6)	
TAK-390MR <dexlansoprazole>	プロトンポンプ阻害薬 (経口剤)	逆流性食道炎の治療およびその維持療法・ 非びらん性胃食道逆流症	欧州 申請(12/3) 日本 P-Ⅱ	自社品
SGN-35 <brentuximab vedotin>	CD30 モノクローナル抗体薬物 複合体(注射剤)	再発・難治性のホジキンリンパ腫	欧州 申請(11/5) 日本 P-Ⅰ/Ⅱ	導入品 (Seattle Genetics 社)
		再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫	欧州 申請(11/5) 日本 P-Ⅰ/Ⅱ	
		再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫	欧州 P-Ⅲ	
		自己幹細胞移植後のホジキンリンパ腫	欧州 P-Ⅲ	
		ホジキンリンパ腫(ファーストライン適応)	欧州 P-Ⅰ	
		全身性未分化大細胞リンパ腫(ファーストライン 適応)	欧州 P-Ⅰ	
OMONTYS[®] <peginesatide>	エリスロポエチン受容体作動薬 (注射剤)	透析期患者(成人)を対象とした腎性貧血	欧州 申請(12/2)	導入品 (Affymax 社)
TAK-085 <omega-3-acid ethyl esters 90>	EPA・DHA 製剤 (経口剤)	高脂血症	日本 申請(11/9)	導入品 (Pronova 社)
Revestive[®] <teduglutide>	GLP-2 アナログ (注射剤)	短腸症候群	欧州 申請(11/3)	導入品 (NPS 社)
Contrave[®] <naltrexone SR /bupropion SR>	μ オピオイド受容体拮抗薬・ ドーパミン/ノルエピネフリン再取 込阻害薬(経口剤)	肥満症	米国 FDA Complete Response Letter 受領(11/1)	導入品 (Orexigen 社)
TAK-875 <->	GPR40 作動薬(グルコース依存性 インスリン分泌促進薬) (経口剤)	糖尿病	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅲ	自社品
TAK-700 <orterone>	非ステロイド系アンドロゲン合成 阻害薬(経口剤)	前立腺癌	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅲ	自社品
MLN0002 <vedolizumab>	ヒト化抗 α4β7 インテグリン モノクローナル抗体(注射剤)	潰瘍性大腸炎	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅰ	自社品
		クローン病	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ	
MLN8237 <alisertib>	オーロラ A キナーゼ阻害薬 (経口剤)	再発・難治性の末梢性 T 細胞性リンパ腫	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ	自社品
		進行性非ホジキンリンパ腫、急性骨髄性白 血病、ハイスクの骨髄異形成症候群、卵巣 癌	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ	
		進行性癌	日本 P-Ⅰ	
MLN9708 <ixazomib citrate>	プロテアソーム阻害薬 (経口剤/注射剤)	多発性骨髄腫	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅰ	自社品
		進行性癌	米国 P-Ⅰ	

開発コード／製品名 ＜一般名＞	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
SYR-472 <trelagliptin>	DPP-4 阻害薬 (経口剤)	糖尿病	日本 P－Ⅲ 米国 P－Ⅱ 欧州 P－Ⅱ	自社品
TAK-491 <azilsartan medoxomil>	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬 (経口剤)	高血圧症(クロルタリドンとの合剤)	欧州 P－Ⅲ	自社品
TAK-536 <azilsartan>	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬 (経口剤)	高血圧症(アムロジピンベシル酸塩との合剤)	日本 P－Ⅲ	自社品
TAK-438 <->	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(経口剤)	酸関連疾患 (胃食道逆流症、消化性潰瘍等)	日本 P－Ⅲ	自社品
TAK-375SL <ramelteon>	MT ₁ /MT ₂ 受容体作動薬 (舌下剤)	双極性障害	米国 P－Ⅲ	自社品
AMG 706 <motesanib diphosphate>	VEGFR1-3, PDGFR, c-Kit 阻害薬 (経口剤)	進行性非扁平上皮型非小細胞肺癌 乳癌	米国 P－Ⅲ 欧州 P－Ⅲ 日本 P－Ⅲ 米国 P－Ⅰ/Ⅱ	導入品 (Amgen 社)
Lu AA21004 <vortioxetine>	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	大うつ病 全般性不安障害	米国 P－Ⅲ 日本 P－Ⅲ 米国 P－Ⅲ	導入品 (Lundbeck 社)
AMG 386 <->	アンジオボエチン阻害 ペプチボディ(注射剤)	卵巣癌	日本 P－Ⅲ	導入品 (Amgen 社)
AMG 479 <ganitumab>	ヒト型抗 IGF-1R モノクローナル抗体(注射剤)	転移性膵癌	日本 P－Ⅲ	導入品 (Amgen 社)
ATL-962 <cetilistat>	リパーゼ阻害薬 (経口剤)	肥満症	日本 P－Ⅲ	導入品 (Norgine BV 社 ^{*1})
Sovrima® <idebenone>	ミトコンドリア標的抗酸化薬 (経口剤)	フリードライヒ失調症 デュシェンヌ型筋ジストロフィー	欧州 P－Ⅲ ^{*2} 欧州 P－Ⅲ	導入品 (Santhera 社)
- <lurasidone hydrochloride>	非定型抗精神病薬(経口剤)	統合失調症 双極性障害	欧州 P－Ⅲ 欧州 P－Ⅲ	導入品 (大日本住友製薬)
TAK-816 <->	Hib ワクチン (注射剤)	Hib 感染症予防	日本 P－Ⅲ	導入品 (Novartis 社)
TAK-428 <->	神経栄養因子産生促進薬 (経口剤)	糖尿病神経障害	米国 P－Ⅱ 欧州 P－Ⅱ	自社品
TAK-385 <->	LH-RH アンタゴニスト (経口剤)	子宮内膜症、子宮筋腫 前立腺癌	日本 P－Ⅱ — P－Ⅰ	自社品
- <veltuzumab>	CD20 モノクローナル抗体 (注射剤)	関節リウマチ	米国 P－Ⅱ 欧州 P－Ⅱ	導入品 (Immunomedics 社)
TAK-361S <->	4 種混合ワクチン (注射剤)	百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオによる感染症の予防	日本 P－Ⅱ	導入品 (日本ポリオ)
TAK-329 <->	グルコキナーゼ活性化薬 (経口剤)	糖尿病	— P－Ⅰ	自社品
TAK-448 <->	メタスチン誘導体 (注射剤)	前立腺癌	— P－Ⅰ	自社品
TAK-733 <->	MEK 阻害薬 (経口剤)	固形癌	— P－Ⅰ	自社品

*1 09 年 10 月 15 日、Alizyme 社は ATL-962(Cetilistat) 事業を Norgine BV 社に譲渡

*2 良好な解析結果が得られた場合、再申請

開発コード／製品名 ＜一般名＞	薬効(剤形)	適応症	開発段階	自社品/導入品
TAK-960 ＜-＞	PLK1 阻害薬 (経口剤)	固形癌	— P—I	自社品
TAK-441 ＜-＞	ヘッジホッグシグナル伝達経路 阻害薬(経口剤)	固形癌	— P—I	自社品
TAK-272 ＜-＞	直接的レニン阻害薬 (経口剤)	高血圧症	— P—I	自社品
TAK-259 ＜-＞	α 1D アドレナリン受容体拮抗薬 (経口剤)	過活動膀胱	— P—I	自社品
TAK-357 ＜-＞	認知機能改善薬 (経口剤)	アルツハイマー病	— P—I	自社品
TAK-063 ＜-＞	PDE10A 阻害薬 (経口剤)	統合失調症	— P—I	自社品
MLN4924 ＜-＞	NEDD8 活性化酵素阻害薬 (注射剤)	進行性癌	— P—I	自社品
MLN0128 ^{*3} ＜-＞	mTORC1/2 阻害薬 (経口剤)	固形癌、多発性骨髄腫、 ワルデンシュトレームマクログロブリン血症	— P—I	自社品
MLN1117 ^{*4} ＜-＞	PI3K α アイソフォーム阻害薬 (経口剤)	固形癌	— P—I	自社品
MLN0264 ＜-＞	抗 GCC 抗体薬物複合体 (注射剤)	進行性消化器癌	— P—I	自社品
MLN2480 ＜-＞	パンラフキナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形癌	— P—I	導入品 (Sunesis 社)
MT203 <namilumab>	GM-CSF モノクローナル抗体 (注射剤)	関節リウマチ	米国 P—I 欧州 P—I	導入品 (Micromet 社 ^{*5})
Lu AA24530 ＜-＞	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	大うつ病・全般的な不安障害	米国 P—I ^{*6} 日本 P—I	導入品 (Lundbeck 社)
AMG 403 <fulranumab>	ヒト型抗ヒト神経成長因子 (NGF) モノクローナル抗体(注射剤)	疼痛	日本 P—I	導入品 (Amgen 社)
ITI-214 ＜-＞	PDE1 阻害薬 (経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害	— P—I	導入品 (Intra-Cellular)

*3 INK128 の開発コードを変更

*4 INK1117 の開発コードを変更

*5 12 年 3 月 7 日、Micromet 社は Amgen 社に買収され、完全子会社になった

*6 米国において P-III 試験準備中

■ 剤型・効能追加

開発コード／製品名 ＜一般名＞ 製品名(国・地域)	薬効	適応症/剤型	開発段階	自社品/導入品
NE-58095 <risedronate> ベネット (日本)	骨吸収抑制薬	月1回投与製剤	日本 申請(12/3)	導入品 (味の素)
AMITIZA® <lubiprostone>	クロライドチャネル開口薬	オピオイド誘発性便秘(OIC)	米国 申請(12/7)	導入品 (Sucampo 社)
TAP-144-SR <leuprorelin acetate> リュープリン(日本) ルブロン・デボ(米国) エナントンほか(欧州)	LH-RH アゴニスト	前立腺癌、閉経前乳癌 (6ヶ月製剤)	日本 P-III	自社品
VELCADE® <bortezomib>	プロテアソーム阻害剤	マントル細胞リンパ腫(ファーストライン適応) 再発性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	米国 P-III 米国 P-II	自社品
Vectibix® <panitumumab>	ヒト型抗 EGFR モノクロー ナル抗体	頭頸部扁平上皮癌	日本 P-III	導入品 (Amgen 社)
AD4833/TOMM40	インスリン抵抗性改善薬/ バイオマーカー	アルツハイマー病の発症予防	米国 P-I 欧州 P-I	導入品 (Zinfandel 社)

■ 最近のステージアップ品目 ※2011年度決算開示(2012年5月11日)以降の変更点

開発コード	効能	国/地域	ステージ
Feraheme® / Rienso®	成人における慢性腎疾患に伴う鉄欠乏性貧血	欧州	承認(12/6)
SYR-322	糖尿病	欧州	申請(12/5)
SYR-322	糖尿病(アクトスとの合剤)	欧州	申請(12/6)
SYR-322	糖尿病(メトホルミンとの合剤)	欧州	申請(12/6)
lubiprostone	オピオイド誘発性便秘(OIC)	米国	申請(12/7)
MLN9708	多発性骨髄腫	米国・欧州	P-III
TAK-375SL	双極性障害	米国	P-III
TAK-357	アルツハイマー病	—	P-I
TAK-063	統合失調症	—	P-I
MLN0264	進行性消化器癌	—	P-I
ITI-214	統合失調症に伴う認知機能障害	—	P-I

■ 開発中止品目 ※2011年度決算開示(2012年5月11日)以降の変更点

開発コード	効能 (開発ステージ)	中止および終了理由
TAK-701	進行性癌(P-I)	現在の当社の開発品のポートフォリオを踏まえて検討した結果、開発中止を決定。
TAK-591	高血圧症(P-I)	TAK-536 が発売されたため、TAK-591 の開発を中止。
MLN0518	神経膠腫(米国 P-II)	単剤および併用投与の試験結果から神経膠腫で今後開発を進めるためのデータが得られず、開発中止を決定。

■ 日米欧以外の地域での申請・承認

地域	国	開発コード／製品名（開発段階）
米州 (米国を除く)	ブラジル	SYR-322 (申請 11/8), TAK-491 (申請 11/11), TAK-491/クロルタリドンとの合剤(申請 12/6)
	コロンビア	DAXAS ^{*7} (申請 11/8)
	ベネズエラ	DAXAS (申請 10/1)
欧州 (欧州連合加盟国を除く)	アルバニア	DAXAS (申請 12/5)
	コンゴ	DAXAS (承認 12/5)
	モンテネグロ	DAXAS (申請 11/6)
	スイス	Rienso (申請 10/8), lurasidone (申請 12/3)
ロシア/CIS	アルメニア	DAXAS (申請 12/6)
	ウズベキスタン	DAXAS (承認 12/6)
アジア (日本を除く)	中国	DAXAS (申請 11/12), SYR-322 (申請 12/3)
	香港	TAK-390MR (申請 11/8), TAK-491 (申請 12/3)
	インドネシア	SYR-322 (申請 11/1), TAK-491 (申請 12/2), DAXAS (申請 10/9)
	フィリピン	TAK-491 (申請 11/10), TAK-390MR (申請 11/11), TCV-116 ^{*8} /アムロジピンベシル酸塩との合剤(申請 12/1)
	シンガポール	DAXAS (申請 11/8)
	韓国	TAK-390MR (申請 11/9), SYR-322 (申請 12/3)
	台湾	SYR-322 (申請 11/3), TAK-491 (申請 11/8), TAK-491/クロルタリドンとの合剤 (申請 12/5), DAXAS (承認 12/7), TAK-390MR (申請 11/9)
	タイ	TAK-390MR (申請 11/8), TAK-491 (申請 11/9), TAK-491/クロルタリドンとの合剤 (申請 12/6), DAXAS (申請 11/1)
	ベトナム	DAXAS (申請 10/12)
その他	ボツワナ	DAXAS (申請 11/12)
	エジプト	DAXAS (申請 12/1)
	イスラエル	DAXAS (申請 11/8)
	モーリシャス	DAXAS (申請 11/3)
	サウジアラビア	DAXAS (申請 12/5)
	南アフリカ	DAXAS (申請 09/8)
	タンザニア	DAXAS (申請 11/9)
	ウガンダ	DAXAS (申請 11/4)
	ザンビア	DAXAS (申請 12/2)

*7 DAXAS® <roflumilast> PDE4 阻害薬（経口剤） 慢性閉塞性肺疾患

*8 TCV-116 <candesartan cilexetil> アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（経口剤） 高血圧症